

NEWS LETTER FROM ZAMBIA

VOL.2 2014.12

現地語-ベンバ語

ザンビアには70以上の部族が住んでいて、それぞれが言葉をもっています。ザンビアは今年独立50周年、それ以前はイギリスの植民地であったために、公用語は英語ですが、私の任地であるンドラ周辺では「ベンバ語」が話されています。

+α...

ザンビアで見つけた食事で今のところ一番びっくりしたのはやっぱり、この虫です。

見た目は美味しくないですが、味はそこそこでした。



食事-シマ

ザンビア人が好きなシマはこの国の主食です。トウモロコシの粉をお湯で練ったもので、左上の写真の状態から加熱したりこねたりしながら、←この写真奥の状態にします。

手で一口大に軽く形を整えておかずと一緒に食べます。

ザンビア人はシマが大好きで、曰く「シマがないと死んでしまう」らしいです。日本人における米と同じかそれ以上の情熱を感じます。

Muli shani, mukwai?(ベンバ語で「元気ですか?」)
日本ではもう冬ですね。寒さで体調崩していませんか?
ザンビアに来て早くも5ヶ月が経過しました。ザンビアは暑い時期が続いていましたが、もうそろそろ雨季の気配...。
2号めのニュースレターです。



子どもの成長チェック

のために、ヘルスセンターのスタッフは週1回ずつ3か所の地域に行っています。屋外に木で作られた小屋があり、そこに写真にあるような体重計で子どもの体重を計っています。

5歳未満児の死亡率がまだ高いザンビアではアンダー5カードという日本の母子手帳の子どもの部分だけのようなもので、成長を記録しています。

主に実施しているのは、地域のボランティアさんたちです。ワクチン接種をする日もあり、多い日は200人もの子どもがくることもあります。



田中 綾

青年海外協力隊

平成26年度1次隊 看護師隊員

派遣期間:2014年7月~2016年7月

✉ aya_452_618@yahoo.co.jp